

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）  
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 7月 23日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会  
理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 金児泰明

<b>1. プログラム名称</b>			
長野赤十字病院総合診療科・病院総合医養成プログラム			
<b>2. プログラム責任者</b>			
プログラム責任者氏名	金児泰明	学会会員番号	
所属・役職	長野赤十字病院総合診療科部長		
所在地・連絡先	住所 〒380-8582 長野県長野市若里 5-22-1 電話 026-226-4131 FAX026-228-8439 E-mail taimeik@nagano-med.jrc.or.jp		
連絡担当者氏名*・役職	臨床研修・図書管理係長 野口和子		*プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 026-226-4131 FAX 026-228-8439 E-mail kennsyuui@nagano-med.jrc.or.jp		
<b>3. 最近1年間のプログラムの概要</b>			
昨年度の研修者は居りませんでした。			
<p>目標) 内科系を中心としたプライマリ・ケア診療に対応できる病院総合医の育成 適確なトリアージ、common disease の診断から治療まで完結できる能力の育成 患者・家族・スタッフとの良好な関係を築き、安全なチーム医療が行える医師の育成 社会的背景の難しい症例のマネジメント能力の育成 研修医の指導が行える指導能力の育成</p> <p>特徴) 基幹病院（病床 700 床、内科医 44 名）の利点を活かし、多彩かつ豊富な症例を経験できる 専門診療科（標榜 33 科目）が揃っているため、相談しやすく指導も受けられる プログラムの自由度が高い（希望する診療科のローテーション組み込み可） 研修医の教育を通じて自らも学ぶシステム（屋根瓦式の中層を担う） 夜間や休日は当番制であるため休養がとれ、遠方の研究会、学会などへの参加も可能 内科全体の勉強会や院内の講習会なども充実している 国内外の他施設への留学制度あり（半年程度、各種条件つき）</p> <p>内容) 総合診療科外来診療：週 2-3 回半日の初診外来、週 2-3 回半日の再診外来 初期研修医の外来診療研修の指導も行う 総合診療科入院診療：チーム制、常時 5-6 名の主治医として、診断・治療計画の立案、IC、 処置（CV、体腔穿刺、髄液検査など）の実施、処方、サマリー 初期研修医の病棟診療研修の指導も行う 当院の内科系当直に属し、救急外来の準夜ないし深夜業務を月 3-5 回程度担当 学会発表や院内での症例発表、併せて臨床的な研修も考慮。</p>			

受付番号	受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定
------	-----	----------	-----	----------	----

カンファレンスほか)

総合診療科独自：外来症例カンファレンス（毎日）、入院症例カンファレンス（水）  
 病棟多職種カンファレンス（水、金）、総合診療科勉強会（第1・3木）  
 他科と合同：内科症例カンファレンス（第2・4月）、内科小児科勉強会（第3月）、  
 M&M カンファ（第4月）、消化器内視鏡カンファ（火）、  
 内科医局会（第2木）

その他の研修）緩和ケアセミナー、がん診療研修科医、臨床研修指導医講習会など

具体的スケジュール例)

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
1年目	総合診療科	他科ローテ	総合診療科	他科ローテ
2年目	総合診療科（他科ローテ組み込み可）			
3年目	他施設研修（希望により検討）		総合診療科	

週間スケジュール例)

	月	火	水	木	金
午前	上部内視鏡	初診	病棟	初診	腹部超音波
昼	外来症例カ	外来症例カ	外来症例カ	外来症例カ	外来症例カ
午後	病棟	再診	心臓超音波	病棟	再診
夜	内科カ・M&M 内科小児勉	内視鏡カ	多職種カ 入院症例カ	勉強会 医局会	多職種カ

他施設研修として飯山赤十字病院（病床 300 床）に 6 ヶ月間選択を考えています。  
 研修者不在のため、施設間の交渉は未実施（他のプログラムで協力関係あり）。

**4. 過去 2 年間の実績**

2012 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名
2013 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名

**5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）**

1年目	0名	2年目	0名	3年目	0名	4年目	名
-----	----	-----	----	-----	----	-----	---

**6. プログラムにおける指導医**

主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載

氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
金児泰明 長野赤十字病院	H5 年	内科学会総合内科専門医	消化器病学会専門医
		PC 連合学会認定医指導医	消化器内視鏡学会指導医
降旗兼行 長野赤十字病院	H7 年	内科学会総合内科専門医	呼吸器学会指導医
		PC 連合学会認定医指導医	アレルギー学会専門医

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--


**7. 施設・診療科診療実績概要**

病床数	700 床 (内総合診療部門定床	12 床)
総合診療部門外来患者実績	初診 約 170 人/月	再診 約 250 人/月
総合診療部門入院患者実績	平均 約	のべ 360 人/月

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

<b>8. 診療実績 研修者 1 人平均経験症例</b>		
急性期一般病床入院	約	症例（研修者不在、データなし）
集中治療室（ICU）・HCU 入院症例	約	症例（研修者不在、データなし）
外来継続診療症例	約	症例（研修者不在、データなし）
看取り症例	約	症例（研修者不在、データなし）
委員会活動実践事例	約	症例（研修者不在、データなし）
教育実践事例	約	症例（研修者不在、データなし）
研究実践事例	約	症例（研修者不在、データなし）
<b>9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別</b>		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
呼吸器系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
消化器系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
神経系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
皮膚	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	
その他	約 症例	（研修者不在、データなし）
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

<b>10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）</b>
1) 指導医や研修医とチーム医療を行う中で、常に診療内容やスキルについてチェックを受ける体制にあります。
2) 鍵となる経験症例についてレポート提出の上で、カンファレンスで検討評価します。
3) 患者や家族、スタッフとのコミュニケーション能力については、指導医が IC に同席して評価し、また、他職種とのカンファレンスの場で評価してゆきます。
4) 研修修了の認定は指導医・スタッフ会議で行います。
<b>11. プログラムの質の向上・維持の方法</b>
1) 研修履修者からの聞き取りなどで、要望や問題点を拾い出し、随時改良に努めます。
2) 指導医・スタッフ会議を定期的で開催し、質の向上を目指します。
3) 学会を通じて、同様のプログラムを実施している施設との交流、勉強会などを企画します。
その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください 現在、研修者がいませんので、当プログラムの実効性を確認することが出来ませんでした。